

「情報公開文書」

研究課題名：

30 歳代に対する乳癌検診の現状と課題

研究責任者：

佐藤 章子 東北公済病院 乳腺外科

1. 研究の対象

2010-20 年に宮城県対がん協会で 30 歳代女性に超音波乳がん検診を施行した症例

2. 研究目的・方法

40 歳未満の乳癌検診は有効性を示すエビデンスは存在しないため、厚労省の指針においても対象外であり、生物学的悪性度が高く進行例が多い若年性乳癌の早期診断の方策は我が国にはない。生殖年齢女性のがん死亡率の第一位は乳癌であり、プレコンセプションケア推進の観点や近年の新規薬剤による治療費の高騰からも若年階級における乳癌検診は実態把握も含めて重要な検討課題である。

研究期間：2024 年 5 月から 2025 年 5 月迄

方法：宮城県対がん協会がん登録と検診システムの受診情報を利用し 30 歳代に超音波検診を施行した住民検診のプロセス指標を算出し、さらに発見癌の進行度、繰り返し受診の効果、検診コストを試算する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、検診時年齢、病変の部位、組織型、臨床的進行度 など

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて受診者さまもしくは受診者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも受診者さまに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：東北公済病院 乳腺外科 電話 022-227-2211 研究責任者の佐藤 章子が対応する。